



みんなの笑顔 元気を合わせ
誇りときずなで未来を創る

「あけましておめでとうございます」

広報
なんたん

もくじ

- 2 南丹市長・南丹市議会議長 新年のあいさつ
- 4 市民の皆さんに今年の抱負を語っていただきました
- 6 地上デジタル放送が始まっています
- 8 行政トピックス
- 10 いきいき南丹／ぶらりなんたん～生身天満宮～

1月号

2008年 Vol.25

迎春

『森・里・街がきらめく ふるさと』を目指して



南丹市長 佐々木稔納

新年、おめでとうござい
ます。市民の皆さまには、ご家族
おそろいでお健やかに新春を
お迎えのことと、お喜び申し
上げます。

昨年、初めての通年予算
で本格的な南丹市のまちづく

り、のスタートとなった年でし
た。五ヶ荘小学校と殿田小学校
の統合と新校舎の建築、日吉
町のケーブルテレビとイン
ターネットのサービス開始、
新バス路線「園部八木線」の
運行など、多くの事業を行う

一方、厳しい財政状況の中に
あって、新しい市民ニーズに
も対応しながら、行財政改革
と総合振興計画の確実な実現
のために組織機構の改革を行
うことができました。

南丹市は非常に厳しい財政
状況にあります。徹底した歳
出削減と収入努力を職員に求
めておりますが、本年は、削
減や廃止あるいは統合しなけ
ればならない事業も出てまい
ります。次年度以降への事
業の先送りなども出てまいり
ますが、どうか市民の皆さま
のご理解をいただきたいと存
じます。

また、国内外を問わず人権
を無視した事件が多発してお
ります。お互いを認め合っ
て、絆を深め温もりのあるま
ちづくりを、さらに進めてま
いりたいと決意を新たにしてい
ります。

多くの課題が山積しており

ますが、このような中であつ
ても、本年は、いよいよ全市
域でケーブルネットワークが
完成し、大都市に負けない情
報基盤が整うことになりま
す。また、新しいものづくり
の拠点となる京都新光悦村な
どへの誘致企業が次々と新工
場を稼働し、JR嵯峨野線の
複線化も一年遅れにはなりま
すが、二〇一〇年春の完成に
むけて、本年は大きく工事が
進行することとなります。

南丹市誕生から三年目を迎
え、総合振興計画が示す
『森・里・街がきらめく ふ
るさと 南丹市』づくりを目
指して、一層努力をしてまい
りますので、市民の皆さまの
ご理解とご協力をお願いいた
します。

結びに、この一年の市民の
皆さまのご健勝とご多幸を心
からお祈り申し上げ、新年の
ごあいさつといたします。

市民の期待と信頼に 応えられる議会を

南丹市議会議長 高橋 芳治

明けましておめでとございます。力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成二十年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、平素より南丹市議会の活動に対し、多大なるご理解とご協

力をお願い申し上げます。早いもので合併して二年がたつわけで、昨年にはまちづくりの根幹をなす総合振興計画の基本構想および基本計画が策定され、将来像である『森・里・街がきらめくふ

るさと 南丹市』の実現を目指して、各事業やまちづくりが進められようとしているところであります。

しかし、皆さまご承知のとおり、危機的な国の財政や、少子高齢化などの問題は、依然深刻であり、国から地方への財源支出の削減により、今後におきましても、本市の財政は大変厳しい状況が続くものと予想されます。

また、わが国では、人権にかかわるさまざまな問題が存在しています。議会といたしましては、人権意識の高揚と、全ての人の人権が守られる社会の実現に向け、努力してまいりたいと考えます。

一方、地方分権の推進により地方自治体が果たすべき役割は増し、また、社会情勢や生活様式の変化から、市民ニーズは複雑多岐にわたっております。

そして、開かれた分かりやすい議会をめざし、市民の皆さまの期待と信頼に応えられるよう議決機関としての役割を果たすべく、一層の努力を重ねてまいります。

南丹市ではすでに行財政改革に取り組んでおりますが、さらに効率的な行政運営を進めるため、この課題をはじめ、行政上の諸問題の解決に

どうか本年も相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆さまのご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。





『自己ベスト更新
を目標に世界の
No.1を目指す』

府立農芸高等学校
パワーリフティング部

菅生 桃子さん

(美山町)

昨年、最も印象に残っていることは、世界大会に出場したこと。女子五十六キロ級で優勝したことで、多くの方がこの競技を知っていただくきっかけになりました。また、たくさんの方に応援していただきとても嬉しかったです。しかし、記録では、自己ベストが出せなかったという心残りがあります。今年はそんな悔いを残さないようにしたいです。まずは南アフリカで行われる世界大会出場を大きな目標として自己ベストをどんどん更新していきたいです。

元気発信 笑顔 「南丹市」

今年の抱負を語っていただきました

『省エネが当たり前の
地域社会
を目指して』

eco レンジャー代表

森 佳子さん

(八木町)



「自分たちの住む町をきれいにしよう」からスタートしたecoレンジャー。地元で始めた活動が、今はゴミ・環境・地球温暖化防止へ広がっています。例えば『白熱電球を省エネ電球に替える』を全国の家が一個、実行すると、自動車約二十万台が出す二酸化炭素と同じ量の削減になります。『たったそれだけ』のところが『それが当たり前』になる地域社会を目指して、活動を進めていきます。

『地域の活力は
農村公園から』

畑郷農園委員長

松尾 敏生さん

(日吉町)



私たちの集落、畑郷には農村公園があり、六十区画の貸し農園と、都市との交流として春には植付祭、秋には収穫祭を開催しております。集客は二百人程度ですが、最近では人数の制限をしなければならぬほどの人気となりました。来られた方は我を忘れて、子どもも大人も農作業に気持ちのよい汗を流され楽しんでおられます。今年も一人でも多くの方に自然に触れてもらい、農業の喜びを味わっていただくよう努めていきます。

土づくりと野菜の味・風味を消費者に提供できる農産物を生産し二十年。直売施設、佐切新鮮組も平成三年の開設から、会員の協力により顔の見える野菜販売に努力しています。また、道の駅京都新光悦村・新鮮野菜市みちの市にもお世話になりながら、加工品の商品化にチャレンジしてきました。今後も南丹市の農産物が消費者の皆さんに喜んでいただけるよう努力していきたいと思っています。

『消費者に
喜んでもらえる
野菜づくりを』

佐切新鮮組

高屋 道子さん

(園部町)



南丹市情報センターは、開局して十六年目を迎えました。平成十八年の南丹市発足から、情報通信網の整備が進められ、今年四月には、南丹市全域でケーブルテレビを見ただけできるようになりました。今後も、広い南丹市の活力につながる地域力のため、南丹市の一体感を、より一層深めていただけるような、市民が主役の番組づくりで、皆さまに地域の話題を提供していきます。



『市民が主役の番組づくりで南丹市をひとつに』

南丹市情報センター
事務局長

角 正 幸さん

(園部町)



『ふだんのくらしを・しあわせに』

南丹市社会福祉協議会八木支所

中 嶋 啓さん

(八木町)

私は、「地域福祉」という仕事を担当しています。福祉というのは「ふだんのくらしを・しあわせに」ということです。私を含め、住民の皆さんが住みなれた地域で、ありふれた毎日を笑顔で暮らす、このことは簡単そうに見えて一番難しいことかもしれません。でも、今年も少しでも皆さんの毎日に笑顔が増えるように、微力ですが生活の縁の下を支えていく仕事をしたいと思っています。

地域から きらめく



市民の皆さんに

私はバスケット部なので、まずは、口丹大会優勝から府近畿、全国を目指して頑張ります。勉強面でも自分に厳しくして、受験を意識しながら頑張ります。私が住んでいる五ヶ荘地区は、小学校が昨年統合されたので、今年はより一層、今まで私たちを育ててくれた五ヶ荘地区に感謝したいと思います。そのためにも、地域の行事や活動に参加し、若い世代から五ヶ荘を元気づけていきたいです。



『住民による魅力あるまちづくり』

美山まちづくり委員会 (美山町)

私たちは、「住民による魅力あるまちづくり」を進めるため、行政や、町内住民組織等との連携により、地域の課題を解決していくことを目的に、活動しています。先人から受け継いだ文化や歴史、環境は、地域の大きな宝です。「玉磨かすば光なし」のことわざのように、企業、行政、学校、住民が協働して、地域の良さを生かしながら、愛着のもてる地域づくりに取り組んでいきます。

『若い世代の私たちが地域を元気づける』

殿田中学校2年

久 野 明さん

(日吉町)



地上デジタル放送が始まっています

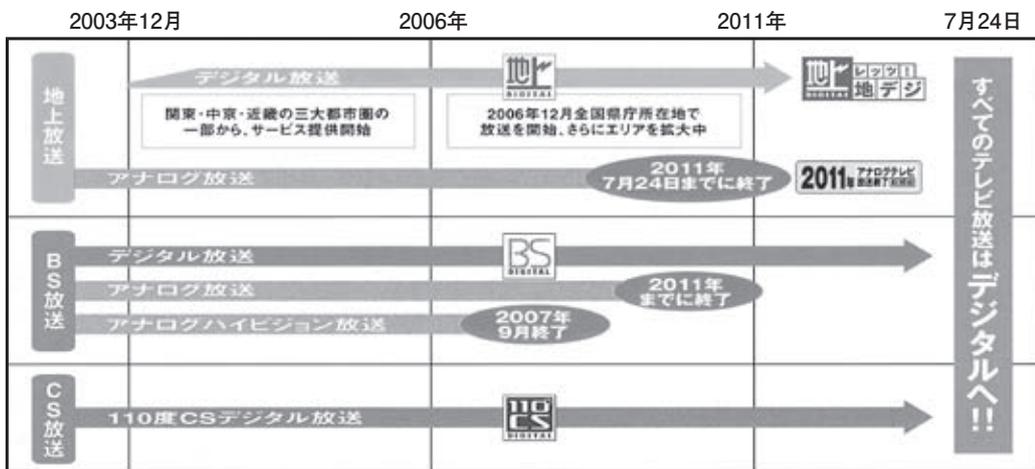
二〇一一年七月までに今までのアナログ放送は終了します

情報整備
シリーズ

—6—

地上デジタル放送（地デジ）は、従来のテレビ放送（アナログ放送）と比べて、より高品質な映像と音声を受信することができる新たな放送です。

現代の生活のなかで最も身近な「テレビ」も、デジタル化によって、今までにない豊かで便利な新しい世界を実現していきます。



2011年 アナログテレビ放送終了
地上デジタル放送をご覧いただくには専用チューナーが必要となります。総務省

▲このシールが張ってあるテレビでは、地上デジタル放送は見るできません。デジタルチューナーなどを買えば、地上デジタル放送対応テレビに買い替える必要があります。

二〇〇三年十二月にスタートした地上デジタル放送（通称・地デジ）は、今まで放送しているテレビ放送（アナログ放送）をデジタル化するものです。現在は、デジタル放送とアナログ放送を平行して放送していますが、二〇一一年七月二十四日までに、アナログ放送は終了します。

テレビ放送は
2011年7月24日までに
地上デジタル放送へ
完全移行されます

地上デジタル放送を見るためには

地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル放送に対応したテレビが必要となります。または、現在ご使用のテレビで、地上デジタル放送に対応していないテレビでも、デジタルチューナーを付けることで放送を見ることが出来ます。

図①のシールが張ってあるテレビなどでは、地上デジタル放送を見ることはできません。



図②

▲このシールが張ってあるテレビや録画機器などは、地上デジタル放送に対応しています。

また、図②のシールが張られていないテレビなどでも、地上デジタル放送を見ることはできません。

地上デジタル放送を見るには、デジタルチューナーを買い足すか、地上デジタル放送対応のテレビに買い替える必要があります。なお、地上デジタル放送対応のテレビやチューナーなどには、図②のシールが付いていますので確認してください。テレビを替えることによって、アンテナも替えないといけない場合があります。

地上デジタル放送になると、テレビはもっと便利になる、
便利に、楽しくなります

ハイビジョンの高画質と
高音質が楽しめます



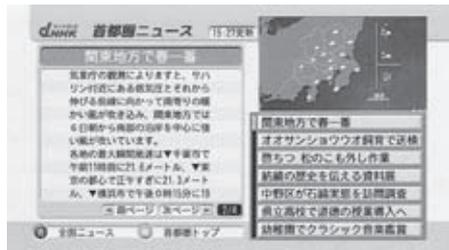
ワイド画面、ハイビジョンの高画質、CDな
みの高音質が楽しめます。

双方向のサービスが
可能になります



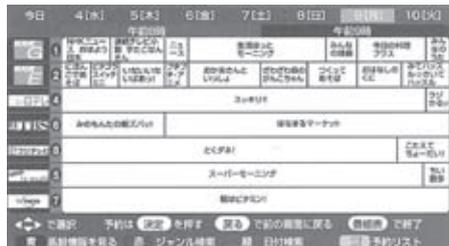
クイズやアンケートなどの双方向サービス
で、視聴者参加型の番組が楽しめます。

いつでも、ニュースや天気予報
などの情報が見られます



データ放送により、リモコンのボタンを押すだけ
でいつでも、最新のニュースや天気予報、そのほか
暮らしに役立つ情報などを見ることができます。

電子番組ガイド（EPG）で、
録画予約も簡単に行えます！



番組表がテレビ画面上で見られ、当日から一週間先ま
での番組情報が検索できます。また、放送時刻の変更が
あっても、視聴予約や録画予約に、すぐ対応します。

※これらのサービスは、地上デジタル放送に対応したテレビで利用できます。

（ただし、視聴できるのは地
上デジタル放送の受信できる
エリア内のみ）。また、アナ
ログチューナーを搭載したパ
ソコンについても、チューナ
ーを地上デジタル放送対応の
製品に替えていただく必要が
あります。

機器を購入される際には、
お近くの電気店や家電量販店
などで相談して、間違いのな
いようにしてください。

南丹市のケーブルテレビは
地上デジタル放送に対応

南丹市では、地上デジタル
放送に対応するため、ケーブ



ルテレビの整備を進めていま
す。

地上デジタル放送に対応し
たテレビ、もしくはチューナ
ーがあれば、市内でケーブル
テレビに加入していただいた
全てのご家庭で、地上デジタ
ル放送を見ていただくことが
可能です。また、アナログ放
送が終了する二〇一一年七月
までは、デジタル放送と、ア
ナログ放送を並行して放送し
ています。

現在、ケーブルテレビでア
ナログ放送を見ていただいで
いる方は、アナログ放送が終
了するまでに、地上デジタル
放送に対応した機器を用意し
ていただく必要があります。

地上デジタル放送で
何が変わるの？

地上デジタル放送は、今ま
でのアナログ放送よりきれいな
映像が楽しめるだけではあ
りません。ニュースや天気予
報など、視聴者が欲しい情報
がデータ放送により、いつで
も見られます。また、字幕放
送や音声による解説放送な
ど、高齢者や障がいのある方
に役立つサービスが充実して
います。

地上デジタル放送になる
と、テレビはもっときれいに、
便利に、楽しくなります。

お問い合わせ先
市役所情報推進課
☎〇七七一一六八一〇〇一九
南丹市情報センター
☎〇七七一一六三一七七七





育てよう 一人ひとりの 人権意識 —人権週間街頭啓発・南丹市人権講演会—



▲ピラなどを配り人権意識の高揚を呼びかけました

十二月四日から十日までの人権週間、「育てよう 一人ひとりの 人権意識」の思いやりの心・かけがえのない命を大切にすることをテーマに、全国各地で人権意識の高揚に向けたさまざまな取り組みが進められました。

南丹市では十二月七日に市内の九カ所で街頭啓発を行い、市人権擁護委員や市職員らが参加して、市民に啓発のピラとカイロ、クリナーを配りました。

また、市民一人ひとりが人権について考え、正しい知識を身につけてもらうようと、翌



▲自身の体験などを話される桂こけ枝さん

八日には南丹市国際交流会館のコスモホールで、南丹市人権講演会を行いました。

講演会は、落語家の桂こけ枝さんを講師に迎え、「こけ枝のほのほの人権ばなし」と題して行われました。

桂さんは、先天性股関節脱臼である自身の体験などから、「社会が一つになって、人権の問題を考えていかなければならない。また、人権問題を考えるうえで、一人ひとりに合わせた配慮を考えていくことが大事である」と話されました。最後には高座を設け、落語「ちりとてちん」を披露。訪れたおおよそ二百人の出席者は、話に聞き入っていました。

四月一日に南丹市 商工会が誕生

—南丹市内商工会
合併契約調印式—

十二月十九日、南丹市内の四つの商工会の合併契約調印式が南丹市国際交流会館で行われました。

南丹市の合併に伴い、園部町・八木町・日吉町・美山町の各商工会では、南丹市地区商工会合併協議会を平成十九年六月十五日に発足。商工会の合併に向けた協議を重ねられ、本年四月一日に「南丹市商工会」が設立されることになりました。

調印式では、各商工会長が「商工会合併契約書」に署名、押印されました。



▲契約書に押印する各商工会長ら



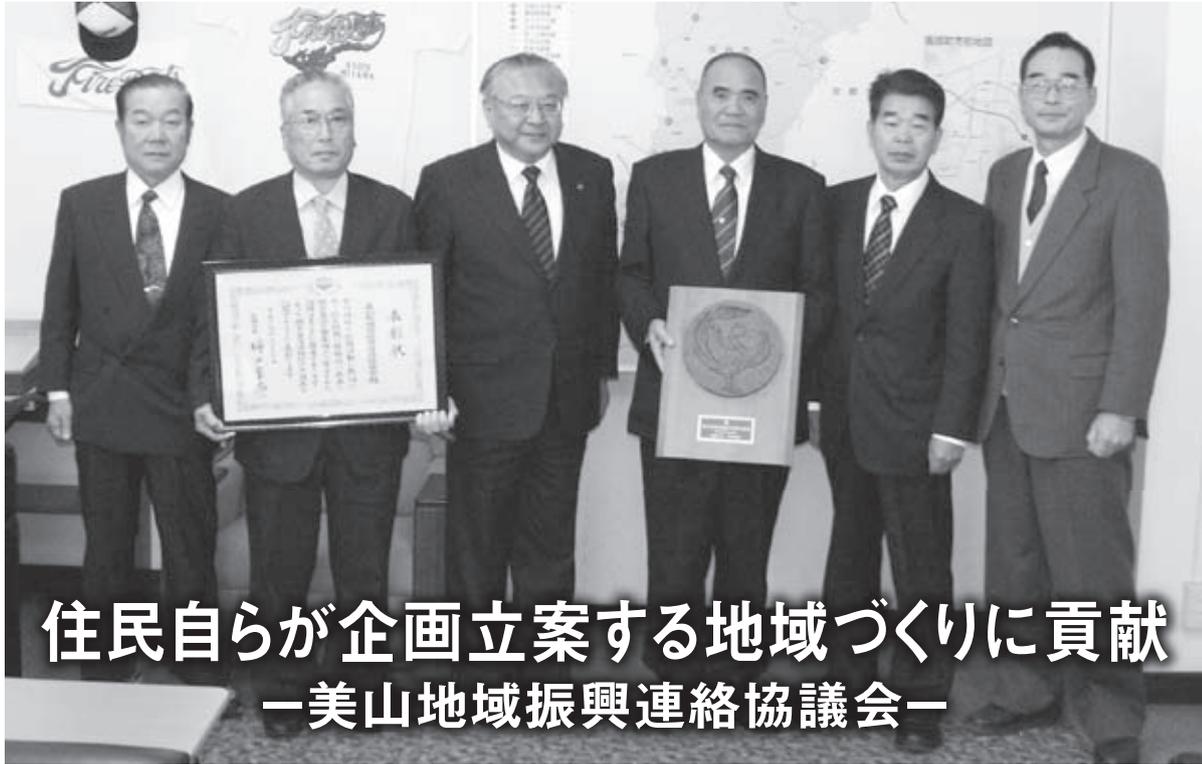
市内を啓発して回ったパレード

交通事故防止の 徹底を呼びかける —年末の交通安全 防止府民運動—

十二月十一日から三十一日にかけて、京都府交通対策協議会による、年末の交通事故防止府民運動が京都府内の各地で行われました。

南丹市でも、交通ルールを守り、正しい交通マナーを日ごろから行うことで、交通事故防止の徹底を呼びかける啓発パレードを十一日に行いました。パレードには、南丹船井交通安全協会南丹支部の会員や南丹警察署、市職員が参加し、市内全域をパレードして市民に交通安全を呼びかけました。

地方自治法施行六十周年記念総務大臣表彰を受賞



住民自らが企画立案する地域づくりに貢献 —美山地域振興連絡協議会—

美山の各地域振興会が進めてこられた、「住民が自らの手で行う、地域の特色を生かしたまちづくり」が、全国模範となる先駆的な取り組みとして大きく評価され、地方自治法施行六十周年記念総務大臣表彰を受賞されました。

この表彰は、国が地方自治法施行の周年を記念して十年に一度行うもので、都道府県および市町村の行政に積極的に参画し、コミュニティづくりに熱心に取り組んでいる民間団体、住民自治組織などに贈られます。

十一月二十日、東京国際フォーラムにおいて、天皇后陛下ご臨席のもと関係者約二千五百人が出席して開催された式典には、知井振興会の名古友弘会長が代表して出席され、表彰状と記念の盾を受け取られました。

同月二十六日には、五人の各地域振興会長が市役所を訪れ、佐々木市長に「この表彰を励みに各地域の活性化を生かします」と受賞を報告。市長は、「これまでの地道な取り組みが全国に認められたもの。これからは市民参画・市

民協働によるまちづくりがますます重要となる。その模範活動を進めていただきたい」と激励の言葉を贈りました。

◆地域振興会の発足◆

旧美山町では、第三セクターによる定住対策や、都市交通などを積極的に行い、地域の活性化を図ってきました。しかし、人口減少により、各地域の活力が低下し、さらなる地域活性化対策が求められました。

そこで平成十一年、住民出資の有限会社を設立し、旧村単位である知井・平屋・宮島・鶴ヶ岡・大野の五地区の廃止されたJA支所跡を地域の生活拠点として再生。日用品の販売など、住民生活の利便性向上を図るほか、農地保全や福祉活動にも取り組むこととなりました。

そして平成十三年、「住民生活の利便性向上」「地域課題の掘り起こし」「人材の発掘・育成」の基本理念のもと、地域に密着した幅広い分野を住民自ら手づくりで担う組織として、五つの地域振興会が発足しました。

◆地域に密着した振興会活動◆

地域振興会は、地域の将来計画を立て、住民要望を実現する「企画総務部」、地域振興・環境保全・保健福祉を通じて住民の生活向上を図る「地域振興部」、住民の教養向上と健康増進を図る「生涯学習・社会教育部」の三部制で構成されています。その活動は、多くの観光客が集まる鮎まつりや、大野ダムのおさくべントから、住民参加による地域別運動会、懇談会、ワークショップ、高齢者サロン活動、地域ボランティアによる子育て支援など、地域の個性を生かして展開されています。また、住環境整備など住民要望の集約、住民票の発行や公金の取り扱い、各種相談といった行政の支所的機能も担う、地域に密着した活動も行われています。

いきいき南丹

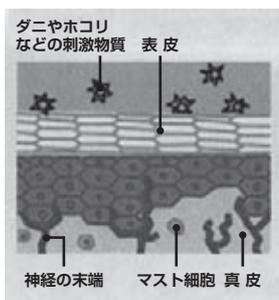
-22-

お元気ですか？
保健師です。

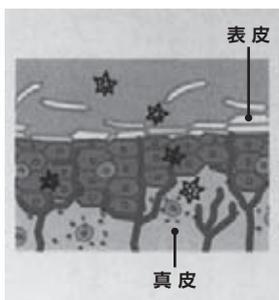


あなたのお肌は健康ですか？

～乾燥に負けない健康的な肌を保ちましょう～



▲正常な状態の肌



▲ドライスキン(乾燥肌)
皮膚の表面から水分・皮脂が失われた状態。(イメージ図)

肌にはバリア機能があり、外的刺激から身体を守る役目を果たしています。

乾燥肌になるとどうなるの？

乾燥肌とは一般に、肌の表面がカサカサする症状を言います。これは、肌(皮膚)の角質細胞間脂質と皮脂の量が通常よりも少なくなること、肌本来の保湿力、抑制力が低下し、肌から水分が蒸発することから起こります。

落ち葉のじゅうたん広がる秋から、吐く息も白くなってくる冬にかけては、気温が下がり空気が乾燥しがちです。乾燥肌の悩みが出てくるのもこの頃です。

空気中に浮遊するハウスダスト、アレルギー物質などが体内に侵入するのをブロックする機能のことですが、乾燥肌になることでその機能が弱まってしまいます。

なぜ肌は乾燥するの？

一部の遺伝による先天的なものや内臓の疾患を伴うものを除いては、次にあげるような生活環境や、外的刺激などが原因になっていると考えられます。

- ①暖房の効いた乾燥した部屋に長時間いる
- ②長時間の入浴や洗剤、せっけんを多く使用する
- ③肌のこすり過ぎ
- ④栄養バランスの悪い食事
- ⑤身体にあわない下着や衣類の着用

このように乾燥肌の原因には、日常的なものも多く、自分の心掛け次第でずいぶん症状を軽くすることもできます。

す。

乾燥肌対策はこうしよう

肌質には個人差があります。が、外的な刺激を減らして肌の免疫力を高めることによって改善することができます。

- ①暖房は必要最低限にして部屋の適度な保湿を心掛ける
- ②熱いお湯の長時間の入浴は避ける
- ③液体やクリーム状の洗剤は使すぎない
- ④タオルでのこすり過ぎに注意する
- ⑤入浴後は保湿剤を塗る
- ⑥静電気を起こしやすすい衣服は避けて、下着や寝巻きは水分を含む綿製品を着用する
- ⑦栄養バランスのとれた食事を心掛ける
- ⑧適度な運動をする

乾燥肌のかゆみ対策

乾燥肌を改善することで、肌のバリア機能が保たれることから、生活環境や外的刺激などについて日常生活を見直してみましよう。

乾燥肌が原因でかゆくてたまらない時、ついついかいてしまいますが、それがさらに「かゆみ」を誘発することに

なりますので注意が必要です。



冷水に浸したタオルを直接肌当てると、水分でかえって症状を悪化させる原因ともなりかねません。ビニール間に挟んで冷やすなどの工夫が必要です。また、逆に冷やしすぎると肌にとっては刺激になります。

患部をかきむしったりして乾燥肌がさらに悪化し、激しい「かゆみ」や「痛み」が出てきた際には医療機関での診察が必要です。

一方、かゆみは内臓の疾患を伴うものが約十〜五十割ほどあると言われています。内分泌・代謝疾患や血液疾患、内臓悪性腫瘍、肝障害、腎障害、心因性などの病気でかゆみが起こります。乾燥肌であっても、全身性の場合には内臓疾患が隠れていないか病院で一度検査を受けてみることをお勧めします。

ぶらり

なんたん 22

いきみてんまんぐう ～生身天満宮～

梅花の香り満ちる、日本最古の天満宮

「谷間の霧はさながら海に似て浪かとまがふ松風の音」

学問の神として知られる菅原道真公が、秋のある朝、小麦山ふもとにあった別邸宅から私市（現小山西町）一帯に霧が立ち込める景色を詠んだ歌と言われています。

菅原道真公は、延喜元年（九〇一）に藤原時平らの策謀により九州太宰府に左遷されます。その際、八男・慶能の養育を当時の園部代官の武部源藏に託し、「菅原のすりおく墨のいつまでもすずりの水の尽きぬかぎりは」と詠んだ歌をすずりに添えて形見としました。源藏氏は、一日も



▲3月上旬から下旬に、梅の花が楽しめます



▲生身天満宮の拝殿（手前）と本殿（奥）

早い帰洛を祈って道真公の木像を刻み、生祠として慶能と共に奉斎しました。これが生身天満宮の始まりで、存命中に祭祀されたことから「生身（いきみ）」とし、日本最古の天満宮と称されています。

江戸時代初期の園部城築城の際に、現在の園部町美園町に遷座され、平成十七年度に本殿が京都府指定、拝殿と秋葉愛宕神社が京都府登録の文化財となりました。

梅をこよなく愛した道真公にちなみ、早春には生身天満宮に梅の花が見事に咲き誇ります。

ちりり案内人



生身天満宮 武部 昌英 さん

生身天満宮の禰宜（ねぎ）、武部昌英さんに、お話をお伺いしました。「由緒の通り、生身天満宮は他の多くの地名の付いた天満宮とは異なり、『生きる身』であってほしいという願いが強く込められた天満宮です。現在でも、近親者のことを案じ、真摯に手を合わせられる参拝者を時折見かけます。その姿を拝見すると、この天満宮の存在を社会にもっと伝えていかなければならないと強く思い、あらためて日々神明奉仕に精進してまいりたいと考えます。今後も末永く生身天満宮が皆さまに親しまれ、人や町が栄えて南丹市の発展につながることを願っております」 ◇生身天満宮問い合わせ先 ☎(0771)62-0535

『天神さん』

天満宮は、親しみを込めて「天神さん」と呼ばれます。

道真公が太宰府で不遇な死を遂げた後、藤原時平の邸宅に雷が落ち、多数の死傷者が出ました。人々は、「道真公の怨霊が雷になられた」と恐れます。やがて、道真公は天神さまになられたという信仰が浸透し、敬慕と崇敬の念を込めて「天神さん」と呼ばれるようになりました。

『雷除け』

生身天満宮の境内でとられた青竹を用いて作られる「雷除け」。雷をよけ、雷に象徴されるさまざまな災い事が起こらないように、そして平安に過ごせるようにとの祈りが込められています。年に一度、春祭りでのみ授与されます。

『合格梅』

学問能筆の神としてあがめられる道真公。学業成就を願う参拝者も多く、生身天満宮でとれた梅は参拝者の心願成就を祈願した『合格梅』として授与されます。

各図書館の開館時間

中央図書館：9時～17時

八木図書室：(平日)10時～18時・(日曜)10時～17時

日吉図書室：(平日) 9時～18時

(土・日) 9時～17時

美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時

図書館へようこそ!



イメージキャラクター“なびっと” No.7

中央図書館は今年で開館十周年

あけましておめでとーございます。今年も一年、南丹市の図書館・室をよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十年の輝かしい幕開けです。今年、中央図書館が現在の場所に移転オープンして十周年となる、記念すべき年になります。

中央図書館の歴史は京都府内でも比較的長く、昭和二十七年に旧園部町立図書館として開館し、昭和五十四年に旧園部町中央公民館内に移転。

その後、国際化・情報化を見据えた新しいまちづくりの中核施設として、マルチメディアに対応した図書館、博物館と情報センターという三つの機能を併せ持った、園部中央図書館(現 市立中央図書館)、園部文化博物館(現 市立文化博物館)、園部マルチメディアセンター(現 市マル

チメディアセンター)が、平成十年十一月三日に現在の場所に開設され、今日に至っています。

本年は、開館十周年を記念しての事業も予定しておりますので、皆さんの積極的なご参加をお願いいたします。



▲今年で開館10周年を迎える中央図書館

なびっとの4こまマンガ

—図書館では静かにしよう—



作：国府 紗矢佳さん

※この作品は、昨年の8月に募集した「なびっと4こまマンガ」の中から掲載しています。

新刊紹介

「日本人の春夏秋冬
—季節の行事と祝い事—」



著：新谷 尚紀
発行：小学館

お正月はなぜ、おめでたいのか。日本民族学の立場から春夏秋冬の季節の行事の由来をひもとき、自然と人とのかわり方をわかりやすく解説しています。

「チエスト!
—がんばれば薩摩隼人—」



著：登坂 恵里香
発行：ポプラ社

鹿児島県の錦江湾(きんこうわん)を横断する遠泳大会に挑戦する少年少女たちの心の成長と友情の物語。今年公開予定映画の児童向け原作本です。

「中高生660人の掲示板
『自分のココロ』をのぞいてみました」



編集・造事務所
発行：PHP研究所

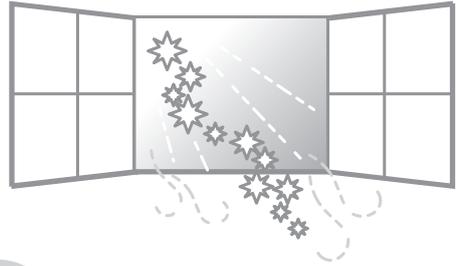
インターネットやケータイサイトの「掲示板」から、中高生のココロをのぞいてみました。
自分・友だち・家族のこと、不登校・いじめ・死について、わたしの将来など、本音トークが満載です。

平成19年度全国中学生人権作文コンテスト京都大会
京都地方法務局長賞受賞作品

人権の窓⁷

いのち 生命の詩

人権の窓を開けて、優しい陽の光と、さわやかな風を感じてください



生命の詩

南丹市立八木中学校一年 中村 康太郎

平成十九年度全国中学生人権作文コンテスト京都大会で市立八木中学校一年生の中村康太郎さんが見事京都地方法務局長賞に輝きました。同コンテストには府内の中学校から七十一校七千二十一作品の応募があり、中村さんの作品「生命の詩」など十三点が優秀作品に選ばれました。

あなたは、目の見えない子どもがどうやって生活しているか考えたことがあるだろうか。これまで僕は、目の見えにくいと思っていた。そんな僕は、先日新潟で行われた「生命の詩の集い」の受賞式に行く機会があった。盲学校勤務の母が担任した小学二年生の田村美咲さんが詩作で最優秀賞に選ばれ、僕がカメラ係で同行することになったからだ。伊丹空港で初めて美咲さんに出会った時の印象は、とても明るくはきはきして人なつこい女の子であった。

僕が美咲さんの手をつないで一緒に歩くと、耳や鼻や肌や全身で周りの様子をキャッチしているのに驚いてしまった。「太陽がこっちだから西だね」と、左手で指さしたり、何の音がしたのか、何のにおいなのかなど次々に聞いてきたりした。また、においや足音でだれが近付いたか分かり、飛行機の発着時刻や、地名やものの名前を覚える記憶のよさにも驚いた。

美咲さんは、「おーい！たいていよーくーん」という題で、外で遊ぶ時、横断歩道を渡る時、いつも照らしてくれる大好きな太陽を作品にしているのだ。僕は、夕食の時、わりばし

た。そして、学校の授業で自分の顔、お尻、左右の腕を使って東西南北を覚えたことを発表していた。本番前の美咲さんは少し緊張していたものの大勢に聞いてもらうことが嬉しそうであった。案の定、美咲さんは、会場の皆の心に真っ直ぐ届く声でメロディーや振りを交え全身で堂々と自分の詩を表現し、観客を圧倒し、会場からの大きな拍手に包まれた。僕は、シャッターチャンスをとがすまいと必死だった。同時にとても感動して胸が熱くなっていた。後日、美咲さんは、地元の新聞や見附市広報で写真入りで紹介されていた。

僕にとつて美咲さんと過ごした二日間は、大変貴重な時間であった。なぜならこんなにも無心に一生懸命生きていく人に出会ったことがなかったからだ。美咲さんは、小さいけれどとても偉大に感じた。点字を触って読む手が目である。その大切な手でボタンかけ、菌みがき、衣服の着脱等一つ一つ僕らにしたら何でもないことを日々努力しているのだ。

僕は、くよくよしたり、イライラしたりすることがあり、まだまだ人間ができていないなあと思う。美咲さんを見てみると、努力して頑張ったらできないことはないような気がさえなってくる。人のせいにして甘えている自分を恥ずかしく思う。僕は前を見つめて希望を持ち続け輝ける自分でありたいと思う。

日吉福祉大学・紅が丘大学の人権講座が行われ、受講生およそ70人が参加しました。講師に、シンガーソングライターで真宗大谷派の僧侶、鈴木君代さんを迎え、「いのちの花を咲かせよう」と題して行われました。講演で鈴木さんは、お経に出てくる「みんな消えてなくなってしまう。だから、今を一生懸命に生きよう」という言葉に感銘を受けたことなど、人を生かしていく言葉を伝えていきたい、と話されました。



▲自作の曲に乗せ仏教の教えを歌う鈴木さん

「みんな消えてなくなってしまう
だから、今を一生懸命に生きよう」

(12/13 日吉福祉大学・紅が丘大学「人権講座」)

「一本のたすきをつないで
園部のまちを駆け抜ける」

(12/16 第二十五回南丹市園部駅伝競走大会)



▲たすきをつないで、ゴールを目指します

旧園部町から毎年恒例となっている「第25回南丹市園部駅伝競走大会」が、市園部公園陸上競技場をスタート・ゴールとする6区間、男子が15.51km、女子が13.93kmで競われました。競技には、地域や仲間同士で結成した29チームが参加。寒風の吹く中を、白い息を吐きながら、参加者らは1本のたすきをつないでいきました。結果は、地区対抗の部が小山西町、一般男子の部が園部高校野球部A、中学生男子の部がエクセレントシューターズ、一般女子・中学生女子の部がマルチーズでした。

みんなのひろば

まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0019へお寄せください。

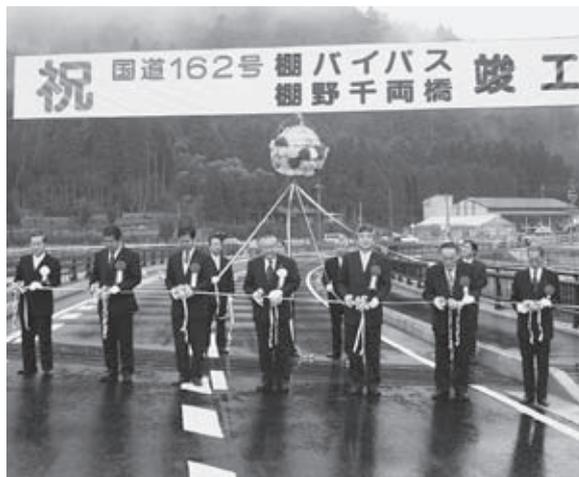
「地域交通の要 棚バイパスが完成」

(12/22 棚バイパス(棚野千両橋)完成式典)

美山町高野地内を通る国道162号の「棚バイパス(棚野千両橋)」が完成し、記念式典を現地で行いました。

式典には佐々木市長をはじめ、藤城南丹広域振興局長ら関係者と、地元市民らおよそ90人が参加。市長らによるテープカットの後、地元の方を先頭に、参加者全員で渡り初めを行いました。その後、道路の完成を記念して、地元の市立鶴ヶ岡小学校児童による音読発表と鶴陵太鼓かくりょうが披露され、道路の完成を祝いました。

国道162号は、古くから若狭と京都・大阪とをつなぐ重要な幹線道路です。急カーブで歩道もなく危険な個所でしたが、新設されたバイパスでは、トラックなどの大型車両でも通りやすくなりました。



▲完成を祝うテープカット



▲南丹市の魅力を語る青柳良明さん

観光振興を共に考え会員などの交流を深めるため、八木町観光協会(松本豊会長)主催の年忘れ講演会が八木支所文化ホールで開催されました。第1部では、京都府商工部観光・コンベンション室青柳良明室長が講演。「観光客のニーズは変化しており、南丹市の魅力は、誘致企業への見学や、京野菜づくり体験を取り入れた宿泊が可能なこと」と述べられ、参加者は観光振興への思いを募らせていました。第2部では、京都大学松井三郎名誉教授が「観光と環境について」の講演をされました。

(12/9 第二回年忘れ講演会)

「観光振興のキーワードは参加・体験型」

地域でイベントが行われるときの会場内の飾花など、花と緑でいっぱいの美しいまちづくりに取り組まれている園部町「花」友の会の寄せ植え教室が、道の駅京都新光悦村で行われました。参加者は竹で作った鉢にシクラメンやナンテンなど、季節の植物を使ったお正月向けの寄せ植えを作りました。同会では、園部町地域だけでなく、他の地域で活動されている団体などと連携して緑化活動を進めていけます。



▲季節の花を思い思いに植えました

(12/15 園部町「花」友の会 寄せ植え教室)

「オリジナルの寄せ植えで、お正月を」

「地域文化の継承と発展を子どもたちと共に」

(12/2 第十六回知井地区文化の集い)



▲地元の小学生らが熱演

美山町知井地区の市民らによる第16回知井地区文化の集いが、市立知井小学校で行われました。「地域文化の継承と発展を子どもたちと共に」をテーマに、午前中は、知井小学校の児童による劇や歌、音読などを発表。午後からは先生と児童の有志や山村留学生、保護者、コーラスグループ「エコ美山」などが、合唱や劇などを披露しました。また、炊き込みご飯やさば寿司、豚汁の販売や地域の人たちの作品展示、昔懐かしい農具の展示なども行われ、大人も子どもも地域が一つになった、楽しいひと時を過ごしました。

「みんなで丹精込めて作ったお米の味は格別！」

(12/15 なんとたんわくわくキッズ「みんなで作ったお米を食べよう&リース作り」)

市教育委員会が主催する「なんとたんわくわくキッズ みんなで作ったお米を食べよう&リース作り」を行い、36人が参加しました。

日吉町四ツ谷の田んぼを借りて、5月に田植え、9月に稲刈りをし、みんなで丹精込めて作ったお米を飯ごうで炊いて味わいました。自分たちで作ったお米の味は格別だったようで、「おいしい」と言って、一粒残さず食べました。また、地元のリース・藤芸作家の藤原恵一さん、節さんの指導でリース作りに挑戦。自然の草木や木の実を使って、思い思いの作品に仕上げていました。



▲悪戦苦闘しながら火をおこして飯ごう炊さん



■霧深い園部盆地

園部・八木・日吉の盆地では晩秋から早春にかけて、「丹波霧」が発生することで有名です。この霧は昼夜の激しい寒暖の差によって生み出され、一面を深い霧で覆う雲海のような景色が広がります。丹波霧と肥沃な土質が丹波産の豊かな農作物を育みます。

編集後記
南丹市誕生から丸二年が過ぎ、新たな年の幕開けです。主役となる皆さんの笑顔と声をお届けする、市内全域でのケーブルテレビの視聴が四月から始まります。「南丹市」がぐっと身近に広がり、また、全国に南丹市をアピールしていくため、ホームページや映像配信サービスも充実していきます。皆さまの広報広聴活動へのご参加をお願いします。(S)



●園部町
前田 瑠唯ちゃん(1歳11ヵ月)

「もうすぐお姉ちゃん。これからも明るい瑠唯ちゃんできてね」
(パパ・ママより)

● 年頭を飾る表紙 ●

4世代で暮らす大下芳雄さん一家(美山町下)。元気いっぱいの子どもたちと、それを優しく見守る、愛情あふれるご家族です。南丹市総合振興計画のまちづくりのテーマにもあるように、笑顔と温もりに包まれた家族が、きずなを大切に、きらめく元気なふるさと南丹市をつくります。

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報
なんたん

編集・発行:南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。